

B) LDチェックリスト (二次精査)

小学校用

記入日 (年 月 日)

記入者 ()

フリガナ		男・女	生年月日 (年齢)	
名前			平成 年 月 日	(歳)
在籍校	立 学校	学 年	第 学年	

項 目		ない	どちらともいえない	ややその傾向がある	傾向が強い
国語	聞く	1 集団の中で、言葉の指示や注意が理解できない。			
		2 聞いたことをすぐに忘れてしまう。			
		3 話を聞く時注意の集中・持続時間が短い。			
	話す	4 幼稚な言葉を使ったり、特定の音節の発音ができなかったりする。			
		5 単語などが出にくい。			
		6 順序を整理して話すことが難しい。			
		7 話題がとびやすい。			
	読む	8 一つの話題に固執する。			
		9 似た文字を間違えて読みやすい。			
		10 漢字の読み間違いが多い (音読みと訓読みの混乱, 順序の逆転等)。			
		11 助詞や文末を読み間違える (勝手読み)。			
		12 一字一字は読めるが、拾い読みである。			
		13 文字や行をとばして読む。			
		14 読む時に過度に緊張する。			
	書く	15 話のあらすじや文章の大体を読み取ることができない。			
		16 「く」と「へ」, 「し」と「つ」等の似た文字を間違えて書く。			
		17 鏡文字が多い。			
		18 枠やマスの中に文字が書けずにはみ出す。			
		19 黒板や教科書の文字を視写するのに時間がかかる。			
		20 拗音や促音を正しく書けない。			
		21 話したいことや伝えたいことを文字で書くのが苦手である。			
算数	計	22 89を98と読んだり, ジュウゴを105と書いたりする。			
		23 数唱において, 二度言ったり抜かしたりするなどして時間がかかる。			
	算	24 数字の「3」と量の「3個」などを対応させて理解することができない。			
		25 十一×÷の記号の意味が理解できない。			
		26 繰り上がりのある足し算ができない。			
		27 繰り下がりのある引き算ができない。			
		28 筆算表記で, 位をそろえることが難しい (2年生以上)。			
29 九九の暗唱や, 九九を使った計算ができない (2年生以上)。					

算 数	図 形	30	形(○△□など)の仲間分けができない。				
		31	おおよその形を視写することができない。				
		32	図形などをかくことが苦手である。				
	数学 的思考	33	定規やコンパスを使うことが難しい(2年生以上)。				
		34	簡単な文章題を読んで立式することができない。				
		35	表(時間割表など)の意味が分からない。				
運 動	粗大 運動	36	時間の流れや暦の意味が理解できない。				
		37	バランスをとるのが難しい。				
		38	スキップができない。				
		39	リズムに合わせて体を動かすことが苦手である。				
		40	相手の動きに合わせて、同じ動きができない。				
	微細 運動	41	前転ができない。				
		42	ボールの扱いがぎこちない。				
		43	紙の幅をそろえて折ることができない。				
		44	はさみで線に沿って切ることができない。				
		45	鉛筆や消しゴムの使い方がぎこちない。				
社 会 性	行動 特徴	46	閉じた丸がかけない。				
		47	席にじっと座っていることが難しい。				
		48	注意がそれやすく、持続することが難しい。				
		49	気に入らないことがあると乱暴な行動をとる。				
		50	我慢できずにかんしゃくを起こす。				
		51	掃除・給食当番をやらない。				
		52	作業が極端に遅い。				
		53	好きなことにしか集中できない。				
		54	ゲーム等で負けることを受容ができない。				
		55	できそうもないとすぐに諦めたり怒ったりする。				
	56	ある物音や雰囲気への恐怖心が強い(運動会のピストルの音等)。					
	対人 関係	57	いじめられやすい。				
		58	人の嫌がることをしたり言ったりする。				
		59	人にちょっかいを出し、注意を引こうとする。				
		60	自分勝手なことを言ったりしたりして遊びが続かない。				
61		ルールが分からなくて遊べない。					
生活 習慣	62	あいさつやお願いなどの仕方が身に付いていない。					
	63	冗談が通じない。					
	64	相手の気持ちが読み取れない。					
	65	宿題や提出物、学校で使う物の忘れ物が多い。					
	66	ノートや教材などをいつもと違った場所に置いたり机やロッカーの中が乱雑になったりする。					
	67	ボタンがけ、ファスナー締め、靴ひも結びなどがうまくできない。					
	68	偏食や過食、小食が見られる。					
	69	食器を使って食事をとることが上手でなく、食べこぼしが多い。					

C) LDチェックリスト (二次精査)

中学校用

記入日 (年 月 日)

記入者 ()

フリガナ		男・女	生年月日 (年齢)	
名前			平成 年 月 日	(歳)
在籍校	立 学校	学 年	第 学年	

項 目		ない	どちらともいえない	ややその傾向がある	傾向が強い
国語	聞く	1 複数の(複雑な)指示が聞き取れなくて、その都度まごついたり混乱したりする。			
		2 普段は簡単な指示に従えるが、しばしば周囲の手助けを必要とする。			
		3 学級の話し合いについていけず、理解することも困難である。			
		4 書いてある情報なら覚えられるが、口頭の指示は覚えていられない。			
	話す	5 いつも幼稚な言葉をつかったり語彙も少なく描写的な言葉の使用が少なかったりする。			
		6 考えていることを話す時、たびたび言葉につまり「その、あの」になる。			
		7 文法的に誤りの多い不完全な話し方をする。			
		8 話す内容がバラバラで、事実を関係付けて述べるのが困難である。			
	読む	9 読み方がたどたどしかったり、読みとぼし、読み違いが多かったりする。			
		10 単文の理解や文章に記述してある事実の理解が困難である。			
	書く	11 判読が難しいほどの文字を書く。字の形がうまくとれない。			
		12 拗音・促音の表記が不正確である。			
		13 「お」と「を」、「わ」と「は」の表記に混同がある。			
		14 板書が写せない、または写すのに極端に時間がかかる。			
		15 話し言葉を文章にしたり文法的に正しい文章で記述したりすることが難しい。			
数学	16 数と計算について、2年以上の遅れがある。				
	17 定規やグラフの目盛りの読み取りや、作図が困難である。				
	18 学年相応の文章題について、自力で解くことが難しい。				
推論	19 事象の因果関係を理解することが困難で、早合点や飛躍した考えをする。				
	20 十分に考えたり順序立てて課題解決に向かったりすることができない。				
英語	21 アルファベットを完全に書けない。				
	22 英語が読めても、書くことは難しい。				
	23 英語を話すことはできるが、読むことが難しい。				

資料

注意・集中・衝動	24	注意が散漫で、一つのことに注意を集中することが難しい。				
	25	自己統制ができず、非常に興奮しやすい。				
	26	質問が多く、注意しても多弁が止まらない。同じ話題を繰り返してしゃべる。				
社会性	27	孤立している。友だち関係のもち方が下手。				
	28	自分に課せられた仕事（係・当番）に対して、責任をもって成し遂げることができない。				
	29	宿題が提出できなかつたり約束事が守れなかつたりする。				
	30	初対面の人に妙になれなれしい。教師に対して友だちのような言葉で話す。				
協応運動	31	全身運動（走・跳・投）が極端にぎこちない。				
	32	左右や方向の指示を聞いても、的確に行動できない。				
	33	同じ姿勢を保っていることが難しい（立位・座位）。				
手先	34	極端に手先が不器用である（鉛筆・定規・道具・楽器などの使用、工作など）。				

チェックリストの利用の仕方

1 スクリーニングチェックリスト（絞り込みのための一次精査用）

（目的）

・LDやADHD等の傾向があるかどうかを見つけるために利用します。

（使い方）

- ① 担任がクラス全員について実施します。
- ② 「その傾向が強い」というところに丸が多くついた児童生徒に関しては、発達障害を原因とするつまずきも考えられるので、校内委員会で取り上げるようにします。

2 障害別チェックリスト（二次精査用）

- ① スクリーニングチェックリストを通して、「その傾向が強い」というところに○が多くついた児童生徒に関しては、障害別のチェックリストを行うことで、より正確に障害の症状があるかどうかを推測できます。
- ② この検査で「傾向が強い」というところに○が多くついた児童生徒に関しては、心理検査を実施したり、専門機関に相談したりすることがよいでしょう。

3 チェックリストを利用するに当たっての注意事項

- ① 保護者の了解を得てから実施します。
- ② チェックリストは、各々の障害の症状の有無をみるものであり、判断したり診断したりするものではありません。

D) ADHDチェックリスト（二次精査）

記入日（ 年 月 日）

記入者（ ）

フリガナ		男・女	生年月日（年齢）			
名前			平成 年 月 日	（ 歳）		
在籍校	立 学校	学 年	第 学年			

- ◆以下の「不注意」「多動性」「衝動性」に関する設問に該当する項目が多く、少なくとも、その状態が6カ月以上続いていること。
- ◆次の「不注意」「多動性」「衝動性」のうちのいくつかが7歳以前に存在し、社会生活や学校生活を営む上で支障があること。
- ◆著しい不適応が学校や家庭などの複数の場面で認められること。
- ◆知的障害（軽度を除く）、自閉症などが認められないこと。

項 目		ない	どちらともいえない	ややその傾向がある	傾向が強い
不 注 意	1 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり不注意な間違いをしたりする。				
	2 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。				
	3 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる。				
	4 指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない。				
	5 学習などの課題や活動を順序立てて行うことが難しい。				
	6 気持ちを集中させて努力し続けなければならない課題を避ける。				
	7 学習などの課題や活動に必要な物をなくしてしまう。				
	8 気が散りやすい。				
	9 日々の活動で忘れっぽい。				
多 動 性	10 手足をそわそわ動かしたり、着席していてもじもじしたりする。				
	11 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。				
	12 きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする。				
	13 遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。				
	14 じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。				
15 過度にしゃべる。					
衝 動 性	16 質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう。				
	17 順番を待つのが難しい。				
	18 他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする。				

E) 高機能自閉症チェックリスト (二次精査)

記入日 (年 月 日)

記入者 ()

フリガナ		男 ・ 女	生年月日 (年齢)	
名前			平成 年 月 日	(歳)
在籍校	立 学校	学 年	第 学年	

- ◆以下の基準に該当する場合は、教育的、心理学的、医学的な観点からの詳細な調査が必要である。
- ◆知的発達の遅れが認められないこと。
- ◆社会生活や学校生活に不適応が認められること。
- ◆以下の項目に多く該当すること。

項 目		ない	どちらともいえない	ややその傾向がある	傾向が強い
社会的関係形成	1 目と目で見つめ合う、身振りなどの多彩な非言語的な行動が困難である。				
	2 同年齢の仲間関係をつくるのが困難である。				
	3 楽しい気持ちを他人と共有することや気持ちでの交流が困難である。				
言葉の発達の遅れ	4 話し言葉の遅れがあり、身振りなどにより補おうとしない。				
	5 他人と会話を開始し継続する能力に明らかな困難性がある。				
	6 常同的で反復的な言葉の使用または独特な言語がある。				
	7 その年齢に相応した、変化に富んだ自発的なごっこ遊びや社会性のある物まね遊びができない。				
固執性	8 強いこだわりがあり、限定された興味だけに熱中する。				
	9 特定の習慣や手順にかたくなにこだわる。				
	10 反復的な変わった行動 (例えば、手や指をぱたぱたさせるなど) をする。				
その他	11 物の一部に持続して熱中する。				
	12 常識的な判断が難しいことがある。				
	13 動作やジェスチャーがぎこちない。				